

## 5月のお代官様～ハゲ(半家)

高知の城下に来てみや、ジンバもバンバもよう踊る、よう踊る。よさこいよさこいと陽気なイメージの高知ですが、前人未到の山中には、平家の落人伝説が残っています。源平合戦で敗れて、命からがら逃げてきたのが、清流四万十川の流れる奥地。栄枯盛衰なんて言いますが、全盛期の平家を想い、隠里を平家と名付ければ命を狙われるから、「平」という文字の上の横「一」を下げた「半」この地を半家(はんげ)と呼び、時代と共に、はんげ、はんげ、はげと変格活用したそうです。



せっかく四万十を訪れたんだから、日々後退する頭髪の供養も兼ねて、聖地「半家」にご挨拶・・なんて気分で、半家駅で写真撮影していたら、JR四国の職員に遭遇。

わざわざ大阪から半家駅を訪ねてくれて嬉しい、なんて話から、最近、「今でしょ」が決めゼリフの予備校の林先生のクエスチョン・コーナーで、この伝説を採用。また、ハゲ祭りとかで、この半家駅から、JR北海道の増毛(ましけ)駅までの団体旅行を企画して、出発前にはバーコード付きのカツラと鳴り物交えて大騒ぎでお見送りしたそうです。



今回は、手作りの半家マップもいただいて、しっかりこの地の素晴らしさを再確認しました。皆さんもチャンスがあれば、清流探検の一つとして、この地を訪問してみてください。

平成29年5月9日記

Top  
トップ  
△

Back  
戻る



[6月のお代官様～cram \(詰め込む\)](#)